

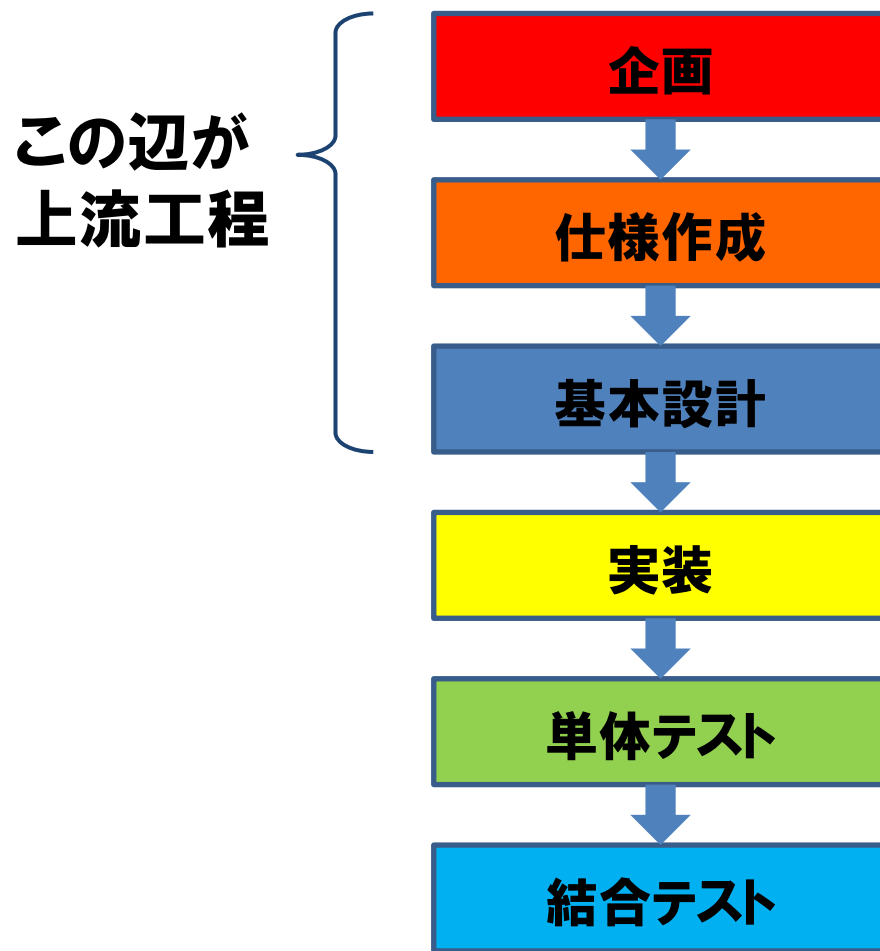
品質は 上流工程で作り込む

2013年5月
株式会社サクセス

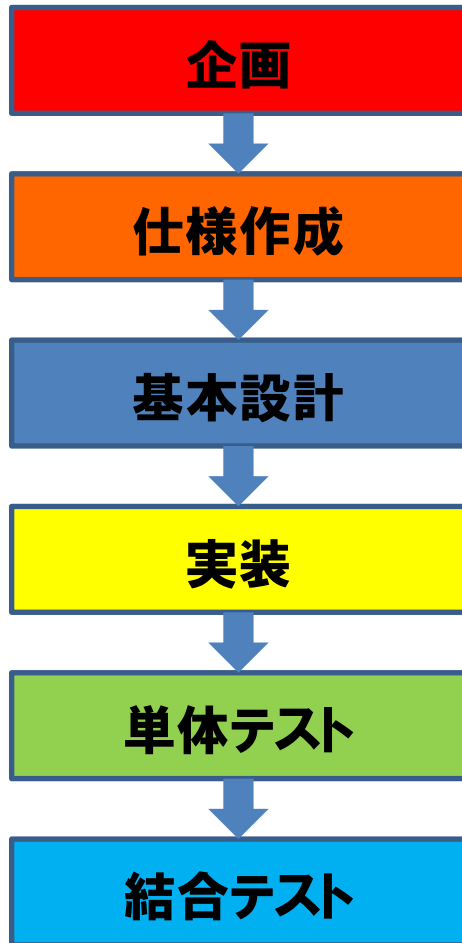
品質は上流工程で作り込む

- 横文字で言えば「クオリティ」
- 「おもしろさ」「画面の美しさ」などの他に、バグの少なさやパフォーマンス、操作性の良さなども品質を構成する重要な要素です。

品質は上流工程で作り込む



品質は上流工程で作り込む

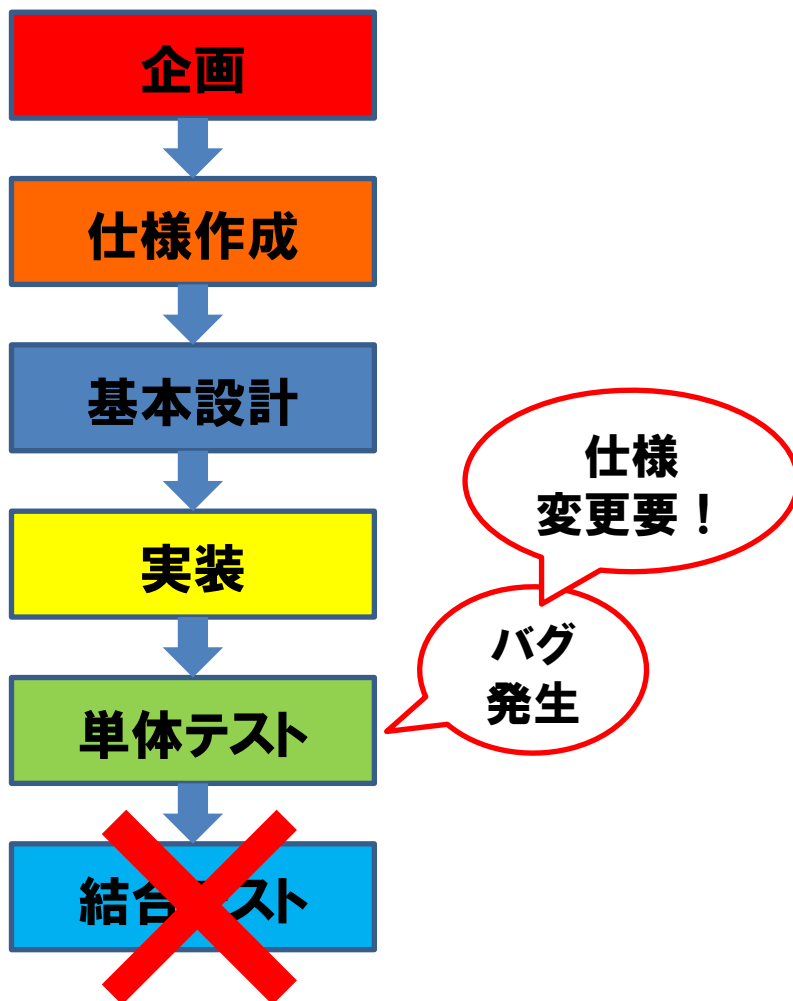


- ウォーターフォールモデルでは前行程でのアウトプットが完全であることが求められます。

- **が、実際は大小さまざまな漏れが発生します。**

→手戻り発生の要因

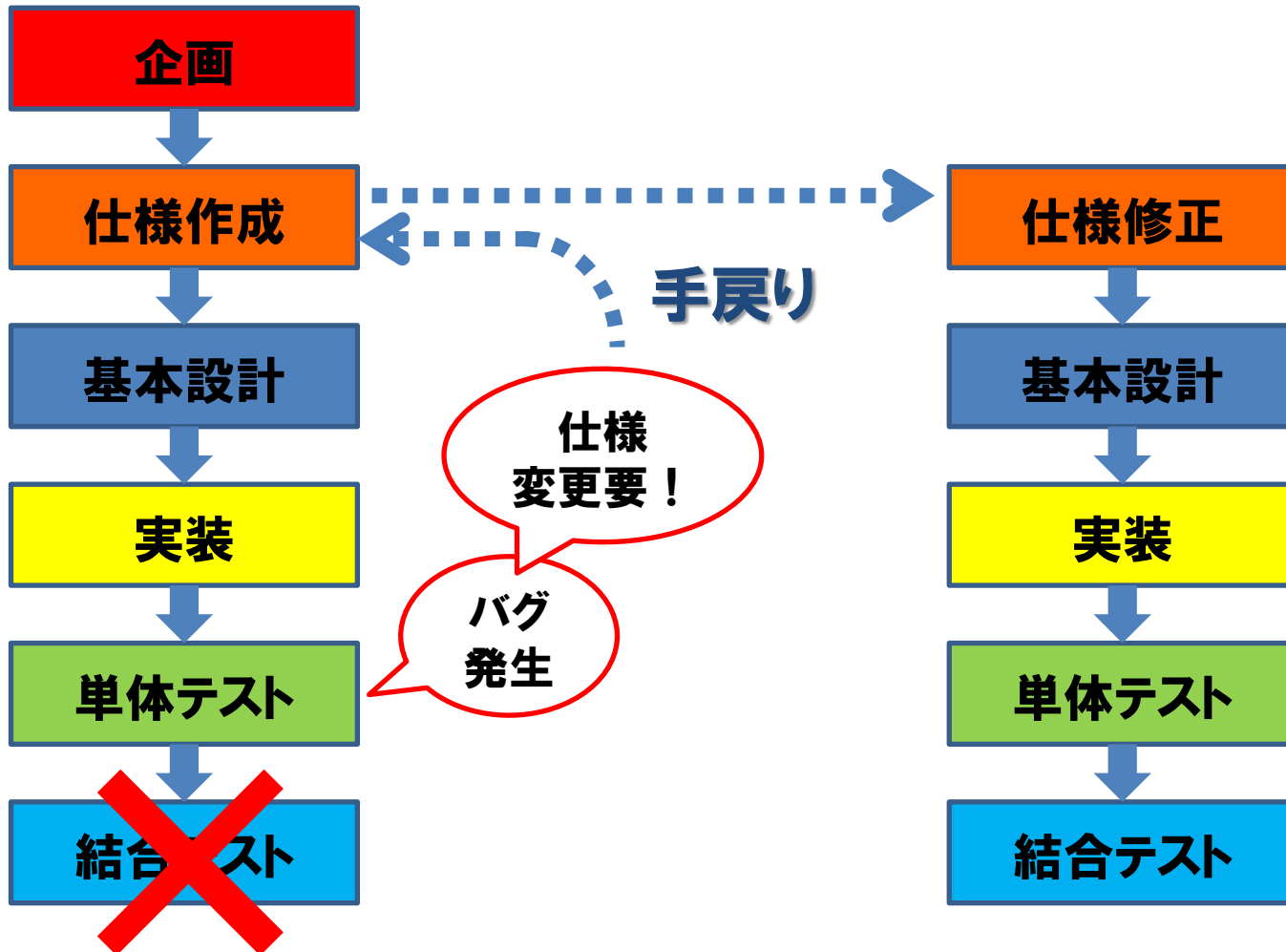
げに恐ろしきは手戻りかな



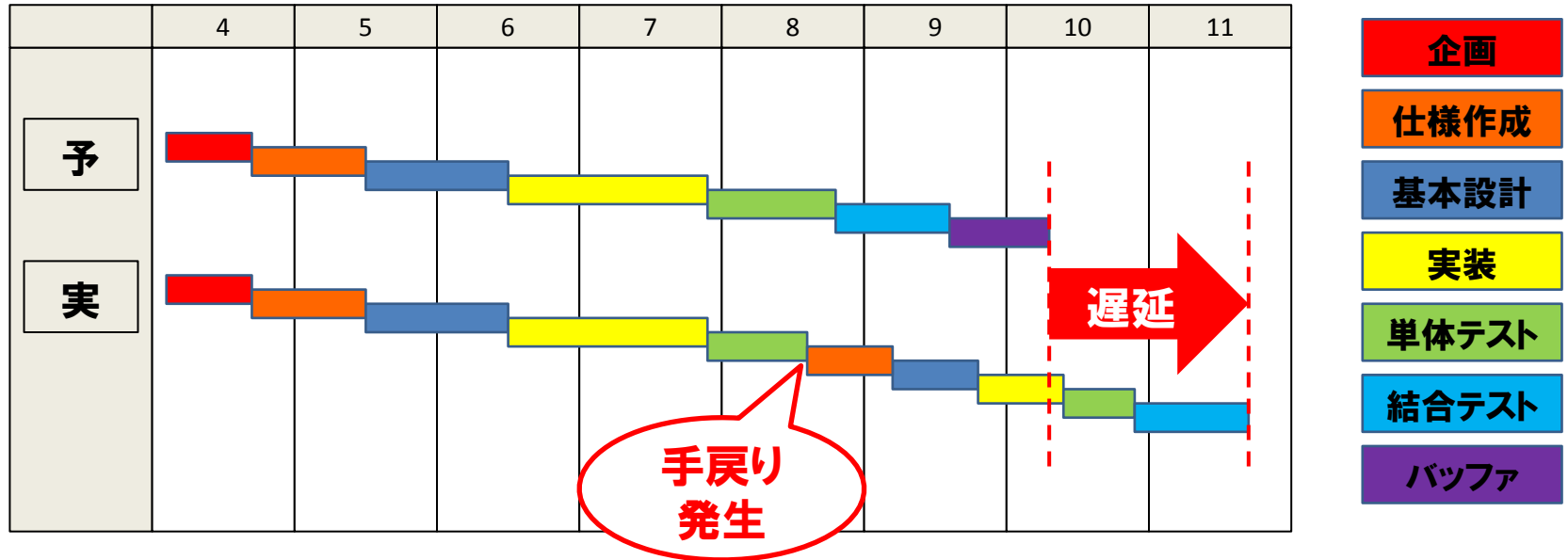
げに恐ろしきは手戻りかな



げに恐ろしきは手戻りかな



線表にしてみると...



**手戻りが発生すると要らぬコストが発生し、
場合によっては遅延の原因にもなりえます。**

手戻りをなくすには

- 完全になくすことは難しい。
- 少しでも手戻りを少なくするためには「問題を後出ししない」ことです。
- レビューで摘出できる類の問題はレビューの段階で指摘 & 対処すべし。
- 問題を認識してるのに寝かせておいたりレビュー不参加などはNGと心得よう。

レビューは重要！ちゃんとやろう！

まとめ

- 上流工程での品質の作り込みが下流工程でのロスを減らせます。
 - ということを常に意識して作業に取り組むことが大事です。
- **不要なコスト発生の抑制**
 - **プロジェクトの円滑な進行**
 - **精神的安寧の獲得**
 - **巡り巡って高品質な製品の創出につながる(はず)**